笑楽日塾だより

２０２４年2月号
２０２４．２．２９
第７２号
発行：笑楽日塾

笑楽日塾はＳＤＧｓを応援します。

塾長あいさつ

荒井貞夫

「福を求めて」

災害の多い１月が過ぎた。能登半島地震の被災者は元の生活に戻るまでこれから先もどんなにか苦労が多いことだろうか。私も子供の頃、渡良瀬川が決壊して床上 1m浸水した事がある。稲穂は水に浸かって腐り、収穫は激減した。

2月3日節分。「鬼は外、福は内」とマンションの戸を開けて枡に入れた豆を撒いた。食事は鰯だった。子供の頃と同じ風景だ。あのころは寒かった。雪が積もって、近くの神社で福豆を撒くので、すべったり転んだりしながら神社へたどり着いた。豆まきは夜だった。

和楽備神社で地元の名士が袴を着て豆やお菓子を撒いていた。福を求めて多くの老若男女が神社へ来ていた。

ひと月前には初詣して破魔矢を買って無病息災を祈った。昨年 11 月 28 日に脱腸の手術をして、名医が失敗し、2 ヶ月も何も出来なかった。今年は、早く治癒し、福が来るように豆まきした。

1 月 23 日に Gym へ行った。空中をぶるんぶるんまわっていた逆上がりは一回も出来ず、足は半分も上がらなかった。懸垂は 10 回出来たのに、一回しか出来なかった。ショックだったのはたった 2 ヶ月でこんなにも筋力が落ちるのかという現実だった。

ゴルフは 2 月 1 日に練習を再開した。こちらは体が覚えていて、7 割ぐらいは直ぐに打てるようになった。実際にどれくらいのスコアでプレー出来るかはわからない。初級者～中級者レベルかなと思う。

体の現実は、手術の失敗でできてしまった血腫は太さ 3cmx長さ 9cm ぐらいの硬い塊で残っている。切開部は塞がっているが、今も痛みを感じている。これから全快までどれくらいかかるのか分からないが、もう運命と思って誰も恨まず気長に日常を過ごしたい。

そうは言っても簡単に割り切れない。私に残された人生はあと 15 年だ。そのうち元気に動けるのは 10 年ぐらいだろう。あと 120 ヶ月だ。おれはそのうちの 2 ヶ月を失ったのだ。これから先、うっかり転んでまた動けない日が来ないように注意して行きたい。そのために筋トレが必要なんだ。

福よ来い！ 逆上がりがくるくる出来るように、ゴルフが元通りプレー出来るように。

笑楽日塾2月 塾会報告

期日 2024 年 2 月 1 日 17時 30 分～19 時 30分
会場 スポーツクラブ NAS 5 階ロイヤルルーム
出席者 八木、新井邦夫、清藤、内田、先崎、吉田、新井斉、星、南、荒井 10 名
欠席者 菊地、先崎隆、荒川

吉田さん・高木さん・南さんにお願いして 4 時 45 分に NAS へ集合し、マルエツへ寿司、コロッケ、おつまみ(アーモンド・ピーナッツ、チーズ)、柿の種、ビール・日本酒、ドライゼロを買い出ししていただきました。
新井斉さんから日本酒の差し入れがありました。

1. 報告事項
令和五年度総会を 4 月 11 日(木)17 時 NAS で開催。
その前に、監査会を 4 月 4 日(木)10 時 WNS わらびネットワークステーション開催。

2. 協議事項
笑楽日塾記念誌 6 号(76 頁)を八木さんが編集して下さり、最終原稿がまとまったので、
1 冊試し刷りを行い、印刷仕上がり状態を確認後、塾生へ販売する。
原価 2,041 円を 2,300 円で販売する。

申込み:
2 冊注文:新井斉、清藤孝
1 冊注文:八木守、新井邦夫、吉田喜義、高木輝雄、星 広行、南 英倫、先崎 隆、内田 茂、
荒川徳広、荒井貞夫
※菊地さんには確認が取れないので、合計 14 部発注する。

2024 年最初の事業として、4 年間休止していたお花見を計画する。

3. 名簿更新
塾生の最新状況を盛り込んだ名簿を各自に確認して頂き更新した。
4 月 11 日に配布する。

近況報告：

最近の身の回りの出来事や政府、行政の対応への不満や提案等を話して貰った。

【吉田さん】
能登半島地震被災者へ自分で出来る範囲の寄付をした。自分がやった事を誰も見ていなくても、それが誰かのたすけになれば良い。こころが満たされた瞬間だった。

【八木さん】
笑楽日塾が始まったときに、高齢者クラブはどんな活動をしているのか、調べた。下蕨では 25 周年記念誌を発行していた。これを参考に「笑楽日塾便り」と「記念冊子」を発行することになった。
今は、ソ連やパレスチナの問題、北朝鮮の不穏な動きなど、どうにもならない事が多すぎる世の中だが、今を生きていくしかない。
災害訓練も必要だが、建て前ばかりで（役所のアリバイづくりか？）これでいざという時に役立つのかその効果が分からない。積極さが感じられない。災害時は共助が大切だが、具体的に動けるか心配だ。いざというときに役所は当てにならないだろう。

【高木さん】
100 年時代に備えている。学ぶ事が重要だと考えている。76 歳だが、まだ現役で仕事している。
包丁講座を月に 2 回開催している。最近、自分に対して敬語を使ってもらえるようになった。

【新井斉さん】
これまであちこちの温泉へ行って、楽しい思いをしてきた、女性が絡むきわどい話もシニアになってから話せるようになった。これからそんな話をいくつか綴ってみたい。真剣に取り組んだパチンコなども楽しい思い出だ。

【星さん】
蕨駅東口に近い新築マンションの管理人になって苦労の連続。近くに 20 戸のワンルームマンションがあって、そこのゴミ出しマナーが悪く、めちゃくちゃだ。カラスが喜んでいる。
俺の仕事の範囲ではないが、付近の環境を守ることも大事なので面倒見ている。誰かの役に立っていると思えば腹も立たない。

【南さん】
蕨市がくれた緑色の折りたたみ式のごみボックスを使っている。便利だ。しかし、中には燃えるゴミも、燃やしてはいけないゴミも分別しないで出す奴がいる。近所にマナーも分からない奴がいるかどうかは、ゴミの出し方で直ぐ分かる。
良心的は塗装屋がいて、塗装を頼んだら、親切にやり方を教えてくれた。くすんだ車をコンパウンド（水垢取り）でこすったら綺麗になった。通常は 10 万～15 万円かかる。正月早々良いことに出会った。

【新井邦夫さん】
　能登半島地震、熊本地震、新潟中越地震、東日本大地震など災害が多く気が休まらない。
被災者は一日も早く元の生活に戻りたいと願っていることでしょう。 元の生活とは何か。
何も特別なことではなく、普通の日常が戻れば良いのだと思う。
　女房はリュウマチの痛みに加え、正月早々コロナに感染して苦しんだ。
幸せとは何か、それは今の平穏な日常が続くことだと思う。

【内田さん】
　きのうスマホでの確定申告を手伝った。「スマホで簡単」というが、その人が持っているラクラクフォンには対応していなかった。
　蕨では自治会館での申告が出来なくなり、西川口税務署へ予約して行かねばならない。
高齢者には無理だ。3 時間手伝って終わった。4 万円ぐらい還付される事になって、大変喜ばれた。

【清藤さん】
　1 月 11 日で 86 歳になった。今も仕事している。神社の神職や駅地下の自転車置き場の管理をしている。 今日、みんなとお会い出来てとても嬉しいです。自分は歳をとって笑楽日塾に巡り会って、Zoom の講演でしゃべり、自分の存在感を十分に味わって、こんなに楽しい時間を過ごせるとは思わなかった。 これからもその日、一日が勝負だと思っている。目が覚めれば、きょうも働けると喜んでいる。

【荒井から】
　塾生の皆さんの日々の生活のお話をお聞きしていると歳を重ねても充実した楽しい日々が見えてきます。笑楽日塾便りが毎月発行され、塾の活動が記録されてゆく。もうそれが6年間続いた。単に集まって食事するだけでも価値があるのに、八木さんのお陰で、価値ある塾の活動が記録されてきた。6 年目の集大成・記念誌 6 号がもうすぐ出来あがる。
　今年は春にお花見を計画したい。
さくらの開花予想は難しいが、お天気と花の咲き具合を見ながら 1 週間前ぐらいに決めたい。

次回は 3 月 14 日(木)です。17 時 15 分から NAS で開催します。17 時ぐらいまでに集合して下さい。(NAS から 19 時 30 分終了を希望されています)

「シニアの風」

（順番制で行います。3月号は　南　英倫さんですので準備の程、宜しくお願い致します。）

「OB への手紙」　　塾長　荒井　貞夫

私には残された時間が少ないと感じるようになりました。一日の半分を何かのボランティアの準備に使って、少し余った時間で昔を振り返り、あの頃何があったかを思い出して懐かしんでいます。
色々手伝っている地域のボランティアはお天気の悪い日は億劫な時もあるけど、「これをやっているから自分は元気でいられるんだ。辞めたら終わりだ」と強い意志と気力で乗り切っています。

毎月ゴルフで会う元会社のOB達と2月20日にゴルフ場で会い、「先輩暫くですね。どうしていたんですか」と声を掛けてきた。「脱腸の手術を名医が失敗してね、3ヶ月ゴルフできなかったよ」。「でも、こうしてまたプレー出来るようになって良かったですね。先輩、OB会を開いて下さい。みんなに会いたいよ」。

新型コロナのためもう5年間もOB会をやっていませんでした。私が所属するOB会は二つあって、一つは東京地区で開催、これに参加するのは元重役、役職者などが多い。一方、蕨で開催するのは元蕨工場のOB達。こちらの幹事は高齢になって、開催の動きが鈍くなってきていました。そんなときに、「先輩OB会をやって！」とゴルフ仲間から頼まれました。

前回開催（52 名出席）から5年も経つと亡くなった人や病気の人もいて、参加者が少なくなってきたと思いますが、前回の参加者には全員手紙を出すことにしました。ゴルフ仲間からは「鉄道博物館で会って、それから食事しましょう」という案が出されました。

しかし、私は大宮にはなじみの店がないし、大勢でお会いして昔を懐かしむことが目的ならば、蕨工場のあった場所で再会して、それから食事の方が良いだろうと考えて、「蕨工場跡地を訪ねる会」を企画したのです。それが次頁の「OBへの手紙」です。

蕨工場閉鎖から 53 年、長い時間が流れても、昔一緒に「釜の飯」を食った仲間です。会えば直ぐに分かるし、打ち解けてしまう。あの頃はみんな 20 代だった。工場の中に賄いの大きな調理場があって、お昼近くになると新入社員が二人で職場の人たちのお弁当を調理場へ取りに行っていた。

さて、何人来てくれるか、ご婦人は何人来られるか　今から楽しみです。

「OB への手紙」　蕨工場跡地を訪ねる会　開催ご案内

蕨工場OBの皆様、お変わりございませんか。
蕨工場での最後の電車 113 系が昭和 46 年 4 月 13 日に蕨工場を出発して 53 年が経ちました。
1,540 名が退職したあのときから半世紀です。

蕨工場で開発製造された 0 系新幹線電車の技術が豊川蕨工場に引き継がれて 100 系、200 系、300 系、700 系などの多くの新幹線電車が豊川蕨工場で製造され、5 年前、2019 年 8 月 2 日新幹線電車製造 4,000 両という大記録が打ち立てられました。
私は主に設計に携わっていましたが、世界最初の新幹線電車が蕨工場で開発・製造された事は 84 歳の今も私の心に深く残る誇りです。

私が蕨工場時代を懐かしむ時間も段々少なくなってきました。2020 年 2 月から始まった新型コロナのために、長い間、蕨工場のOB会で皆様とお会い出来ませんでした。地元蕨に長く住んでいる者として、またみんなに会いたいな～という気持ちは心の奥底にいつまでも残り、消えることはありませんでした。

毎月ゴルフで一緒の石原勇さん、辻喜久雄さん、小野寺高明さん、岡村正和さん達も「みんなと会いたいな～」といいます。
そこで思い切って「蕨工場跡地を訪ねる会」を企画しました。春の日のひとときを蕨工場の跡地を訪問し、食事しながら語り合いましょう。
そこには「新幹線電車発祥の地」の記念碑があります。是非おいで下さい。

期日　2024 年 4 月 25 日(木)11 時集合
場所　蕨工場跡地(バス通りに面した芝園団地・歯医者の前)
　　そのあと 7 分歩いて昼食会場へ　蕨駅から 200m「大庄水産」(50 人可)
会費　6,000 円
出欠は同封のはがき又は電話(090－5992－2617 荒井貞夫)で 4 月 5 日までに。

企画:荒井貞夫(蕨市中央 1－7－1 シティタワー蕨 2504)
発起人:石原勇、後藤武男、辻喜久雄、小野寺高明、岡村正和

編集後記

八木　守

二十四節気（にじゅうしせっき）とは、1 年を春夏秋冬 4 つの季節に分け、さらにそれぞれを 6 つに分け季節をあらわす名前をつけたものだそうです。

立春からはじまる二十四節気をご紹介したいと思います。

1 年を 15 日間ずつに分けて、暦上に季節の移り変わりを示す 24 の基準点。
それが二十四節気です。その最初の節が立春。暦の上では春が始まる日とされます。

立春は節分の翌日で、今年は 2 月 4 日。旧暦を使っていた時分は、この日を一年の始めとする考え方もありました。 雑節の基準日なので、八十八夜や二百十日は、立春から何日、と数えます。

〈春〉

1. 立春（りっしゅん） 2 月 4 日～18 日ごろ

旧暦では、「一年のはじまりは立春から」とされています。
寒さがやわらぎ、生き物たちが春支度をはじめる頃。梅の花が咲き、ウグイスの鳴き声が聞こえてくるなど、春のあたたかな足音が近づいてきます。

2. 雨水（うすい） 2 月 19 日～3 月 4 日ごろ

降る雪が雨へと変わり、雪解けがはじまる頃。
昔から農耕をはじめる時期の目安とされてきました。やわらかな日差しの中、草木がほんのり色づく様子や、春霞を楽しめる季節です。

昨今は、世界中でいろいろな出来事が起こり、ロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・ガザ戦争、北朝鮮、能登大地震、大型ハリケーン等、悲しい日々が多くなっていますが、私達は季節の移り変わりを感じる心がなくならないように、五感を研ぎ澄まし、自然を感じ、風を感じる自分を常に意識し、上手に歳を重ねていきましょう。

完